

人と人がつながり 幸せが循環するまち ～対話で拓く朝来市の未来～

いま、朝来市が次世代に誇れる一番の宝はなんでしょうか。

それは、長年の市民自治によって培われた

市民力や地域力ではないでしょうか。

これまで朝来市は、「市民が主役のまちづくり」を進めてきました。

人口が減少して、目まぐるしく社会も変化し、

いろいろなことが転換期を迎えている現代。

豊かな自然環境をはじめ、いま当たり前だと思っていることも、

ずっと続くものではなくなっています。

これからは、対話でお互いの理解を深め、

みんなで答えを探していくことがますます大切になってきます。

第3次朝来市総合計画は、全ての市民のための計画です。

これは、持続可能な開発目標(SDGs)の基本理念である

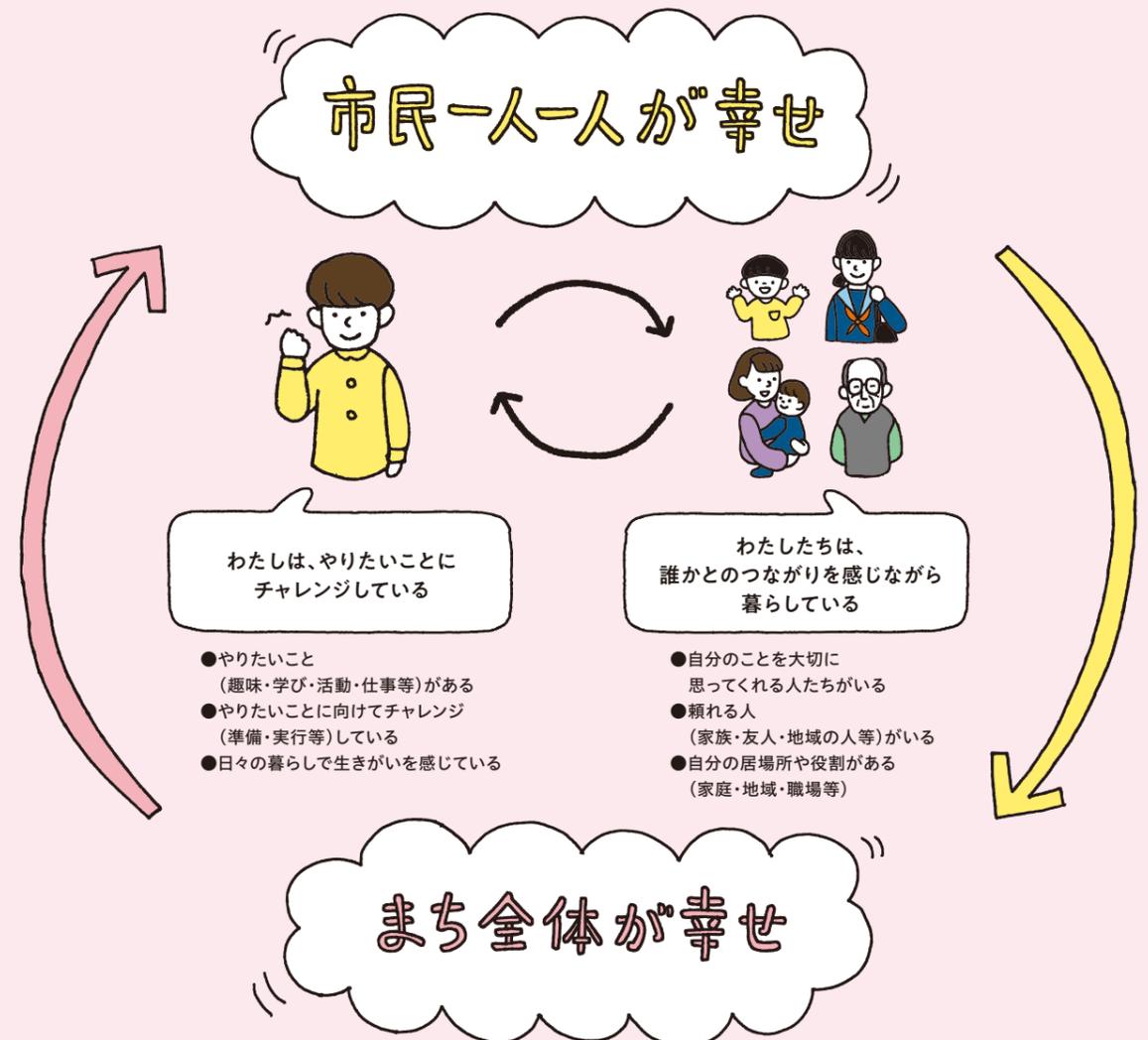
「誰一人取り残さない」と同じ考え方です。

一人一人の幸せが、まち全体の幸せにつながるように、

朝来市の未来をみんなで切り拓いていきましょう。

まち全体が幸せであるために、まずは市民一人一人が幸せを実感できることが大切です。小さなことでも自分のやりたいことが実現できたとき、人は幸せを実感できるのでしょうか。そのうえ、誰かの役に立てたり、困ったときに頼れる人がいれば、次のチャレンジに向かう勇気もわいてきます。

一人一人の幸せを育み、互いに響きあうことで、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現を目指します。



将来像を実現していくために、 次の6つのまちの姿を目指します。

第3次朝来市総合計画の全編
(基本構想・基本計画)は
こちらから→



第3次朝来市総合計画の期間は、令和4(2022)年度から令和11(2029)年度までの8年間です。



ありたいまちの姿 1 「やりたい」につながる多様な学びで、 未来をつくる「人」を育む

子どもから大人まで様々な学びの場をつくることにより、市民一人一人のシビックプライドや主体性を育みます。また、多様な価値観・考え方を互いに認め合うことで、まちをも楽しくする自分らしい生き生きとした活動(経済活動含む)をつくる人材が育まれるまちを目指します。

- 1 シビックプライドと未来をつくる力を育む
人材育成の充実
- 2 生きる力を育む幼児教育・学校教育の推進
- 3 多様な学びを支える教育・学習環境の整備
- 4 まちにも活きる生涯学習・スポーツの推進
- 5 多様性を尊重する人権文化の醸成
- 6 豊かな心を育む芸術文化の振興



ありたいまちの姿 2 人と自然が共生しながら 地域で循環する産業を確立する

人の暮らしや営みとともにある自然との共生を図りながら、朝来市が持つ資源・魅力と市外の活力をつなげ、時代にあわせて進化し、内発的な経済力を高め、地域で循環する産業が確立されたまちを目指します。

- 7 内発的な経済循環と多様な働き方の創出
- 8 まちの力になる観光の振興
- 9 時代にあわせた農畜産業の振興
- 10 自然を守り活かす林業の振興
- 11 人の営みとともにある自然との共生
- 12 地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用



ありたいまちの姿 3 多様なつながり・交流を育み、 地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域力がさらに高まっているまちを目指します。

- 13 市民力を高める協働のまちづくりの推進
- 14 多様な人がつながる地域コミュニティの充実
- 15 まちの仲間になる移住定住の推進
- 16 まちを応援する関係人口の創出
- 17 未来につながる多文化共生の推進



ありたいまちの姿 4 誰もが居場所や役割を持ち、 健幸で心豊かな暮らしを実感できる

世代等を超えて、市民一人一人が地域とつながり、誰もが地域の中で居場所や役割を持つことで、地域の人々に囲まれ安心した子育てや暮らしが実現できるとともに、市民一人一人が生きがいを感じながら健幸*で心豊かな暮らしを実現できるまちを目指します。

- 18 一人一人が地域とつながる地域共生社会の実現
- 19 地域みんなで安心できる子育て環境の充実
- 20 いつまでも自分らしく活躍できる
高齢社会の実現
- 21 障害のある人の居場所と役割がある
自立支援の充実
- 22 安心できる医療体制の充実
- 23 ころとからだに幸せになる健幸づくりの推進



ありたいまちの姿 5 市民の暮らしを支える 安全・安心な都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化や公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちを目指します。

- 24 自然を守り暮らしと産業を創造する
土地利用の推進
- 25 日頃からみんなで備える
災害に強いまちづくりの推進
- 26 暮らしを守る防犯・交通安全の推進
- 27 生活基盤の持続可能な維持管理・確保
- 28 暮らしを支える上下水道の維持管理・運営
- 29 地球に優しいエネルギーと資源の循環の推進
- 30 暮らしを豊かにする公共交通の確保



ありたいまちの姿 6 まちの動きや情報を戦略的につなぎ、 効率的で健全な行財政運営を実現する

市民との対話を大切にするとともに、まちの動きや情報を市民と共有することで、市民自治のまちづくりをさらに推進します。また、持続可能で自律した自治体運営を推進するため、効率的で健全な行財政運営を図るとともに、市民とともにある、市民に信頼される職員・市役所を目指します。

- 31 対話による開かれた広聴の充実
- 32 伝えたいところに届く戦略的な情報発信の推進
- 33 効果的かつ効率的な行財政運営の推進
- 34 市民とともにある職員の育成・組織力の強化
- 35 広域行政組織等団体との連携の推進

*健幸：身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ安全安心で豊かな生活が送れること。

もう始まっています

朝来市の未来を切り拓く

みんなの合言葉(声かけ)

令和3年11月13日、あさご未来会議に集まった80人の対話から、

朝来市が目指す将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現に向けたみんなの合言葉が生まれました。

みんなの前向きな気持ちが響きあうことで、朝来市のまちづくりは進んでいきます。

1

日頃からのあいさつ

「〇〇さん、おはよう」
「〇〇ちゃん、こんにちは」

名前をつけて挨拶すると、お互いぐっと距離が縮まって、なんだか嬉しくなります。まちで出会う一人一人との、日ごろからのあいさつを大切に。



2

支えあいの言葉

「お疲れ様」
「ありがとう」

感謝とねぎらいの声をかけられると、また誰かの支えになりたい気持ちになります。笑顔の声かけで、人と人のつながりを感じ、安心感のあるまちに。



3

きっかけになる声かけ

「いつでも相談のるよ」
「何かあれば言って」

良いおせっかいは、誰かの一步を踏み出す勇気になることもあります。見守ってくれている人たちがいるから、自分なりに行動をおこしてみよう。



4

安心できる励ましの言葉

「大丈夫」
「なんとかなるよ」

頑張りがすぎていると、何気ないポジティブな言葉でふと気持ちが楽になることも。悩みながらも、自分らしく、自分のペースで頑張ってみよう。

5

信頼からの力強いエール

「あなたならできる」
「頼りにしてる」

信じて任せてもらえれば、いつも以上にパワーもわいてきます。自分を信じてくれる人を信じて、自分のことも信じてやってみよう。



6

仲間からの協力

「一緒に考えよう」
「私も協力するよ」

想いを言葉にしてみると、共感してくれる仲間が見つかります。一人だけでは乗り越えられない壁も、仲間がいれば一緒に乗り越えられるはず。



7

自信につながる褒め言葉

「いいね!」
「すごいやん!」

ちょっとでも褒められたり、認められたりすると、嬉しくなるものです。次のチャレンジへのエネルギーになります。



朝来市総合計画が
できるまで

第3次朝来市総合計画は、市民・議会・行政が
たくさんの対話を積み重ねてつくりあげました。

会議名		令和2年度 基本構想の検討	令和3年度	回数
		基本計画の検討		
市民	Hello ASAGOiNG Net	●●●●●		4
	あさご未来会議	●●		2
	朝来市総合計画審議会	●●●●●		6
	パブリックコメント	●		1
行政	朝来市総合計画職員プロジェクト会議	●●●●●●●●		8
	朝来市総合計画策定会議	●●●●●		6
議会	総合計画調査特別委員会	●●●●●●●●		9
	総合計画審査特別委員会	●●●●		3
	本会議	●●		2
合計				41